

将来の生き方と学習

特別活動 第2学年
珠洲市立緑丘中学校・教諭

1 事例の概要

明るく元気で和やかなクラスである。学級対抗の行事等を通してクラスの一員であるという意識が芽生えはじめ、係や班活動の取り組みでは協力し合う様子も見られるようになってきた。集団のまとまりのためには、さらにお互いの意識の高まりや考え方の深まりが必要であると考えた。

本題材は、2学期に実施する『わく・ワーク体験』に向けての進路学習の第一歩となる。導入として、自分の生き方を考える中から、「働く目的・学ぶ目的」を考える必要があると捉えた。そして、お互いに意識が高まり、考え方が深まるための工夫として、パネルディスカッションやグループ討議を取り入れ、自主的・積極的な取り組みが充実した学習へとつながることを理解させたいと考えた。また、学級が良き集団となるためにも、お互いの考えや意見を温かい気持ちで受け入れ、活発な話し合いを通して、お互いに認め合える関係を紡いでいきたいと考えた。

2 実践内容

(1) 題材の目標

- ① 働くことの目的や意義を知ること、将来の自分の生き方と深いつながりがあることを理解するとともに、望ましい職業観・勤労観・学習観の基礎を身につける。
- ② 学習の悩みについて話し合うことから、その解決方法を理解し、意欲的に学習に取り組む態度を身につける。
- ③ 多くの人の学習方法や体験談を聞くことから、より効果的な学習方法を理解するとともに自分に合った学習方法を考える。

(2) 指導上の工夫点（視点）

① 話し合いを活発にする事前指導の工夫

話し合いの活動が円滑に進むように、「将来希望する職業」をあげて、「職業を選ぶ基準」を考えるなどのアンケートを実施して事前の学習準備を丁寧に行った。また、授業に主体的に臨む姿勢づくりのために、特にパネルディスカッションでのパネラーには、意見発表の原稿を添削したり、発表リハーサルを行った。

② 生徒が主体となる活動の工夫

話し合いの活動では、和やかで落ち着いた雰囲気活発な話し合いとなるように教師側で心構えを促した。主体的に学習活動を進める意識を持たせるために生徒に司会を担当させた。

また、心から拍手を送り、すべての意見を認め合った。自分の考えとの違いや質問を考えさせて深め合うことで、みんなで授業を作り上げていく心地よさを味わわせた。

③ 思考活動の補助となるワークシートの工夫

聞いた意見をもとに自分の考えをまとめ、考えの変化にも気づき、振り返ることができるように工夫したワークシートを利用した。話し合いでは、躊躇なく発表することができるように、聞くときの観点を示し自分の意見や考えがワークシートに記入しやすくなるように工夫をした。

④ 評価の工夫

ワークシートを工夫し、記入する時間を確保して、自分の思考の変容を踏まえたふり返りの自己評価ができるようにした。また、教師側として評価規準を明確にして、生徒の実態に応じた授業改善の視点を設定することとした。

3 指導の実際

	学習活動	指導上の留意点 (◇)・支援 (◆)	評価 (観点、方法等)
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> パネルディスカッション『あなたの職業を選ぶ基準は？』 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> A 収入が安定している。 B 楽しくできる。 C 興味がある。 D 自分の能力にあう。 E お金がもうかる。 F 自分の好きなこと・やりがいがある。 </div>		
	3 「職業を選ぶ基準で自分が一番だと考える価値」について意見を発表 4 各パネラーの発表を聞いて観点をもとに感じたことをワークシートに記入 5 ワークシートに記入したことをもとに、質問をしたり自分の感じたことを発表	◆聞き手側の姿勢が大切であることを確認し、緊張せず自分の意見を発表できるように支援した。 ◇友達の意見を聞きながらメモをとることを伝え、最初はワークシートの観点をもとに記入する時間を多めにとった。 ◇明るく和やかな雰囲気を進めるために、意欲的に発表できる生徒を最初に指名した。	・パネルディスカッションに意欲的に参加している。 [観察・発表・ワークシート]
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C-1 指導案</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C-2 ワークシート</div>	

4 成果と課題

(1) 話し合いを活発にする事前指導の工夫

話し合いの活動のスタートは、やや緊張している面も見られたが、自分の考えをあらかじめ明確にしたことと意見発表の生徒の真摯な姿勢から、じっくりと真剣に話し合える授業の雰囲気ができあがった。

(2) 生徒が主体となる活動の工夫

話し合いの活動では、司会者や発表生徒の発言で和やかな雰囲気となり、その後の意見交流も活発に行われた。授業の振り返りでは、意見交流の良さをあげた生徒も多く、お互いに安心して伝え合える関係ができたように感じられた。

(3) 思考活動の補助となるワークシートの工夫

ワークシートにより、クラスメイトの意見を聞いて、自分の考えを持たせることができた。また、自分の考えを見直し、新たな考えを持つなど自分の考えをより明確にすることができた。

(4) 評価の工夫

ワークシートで自分の思考の変容がわかることから、学習意欲を高める自己評価となった。また、学習全体の振り返りでは、みんなの意見の違いをお互いに認め合える評価内容となった。さらに、教師側としては、「指導と評価の一体化」を意識して、評価規準を明確にしたことから、生徒の評価をもとに授業を振り返って、授業の工夫・改善点も見つけることができ、次の授業に生かすことができた。

(5) 望ましい職業観・勤労観・学習観の基礎づくり

意見交流で働く理由を考えたことから、他者の考えを受け入れ、自分の職業観を見つめ直すことができた。さらに、それを生かそうとする態度も生徒の感想も見られたことから、職業観勤労観を多面的に捕らえ、その基礎の一端を身につけることができたように思われた。

5 その他

* [参考文献] 『最新 進路学習を核とした学級活動の展開』

日本進路指導協会監修・埼玉県中学校進路指導研究会編 (実業之日本社)